

## 工大祭における研究室公開部門「なるほど応用化学」への「くらりか」の参加

2014-12-22 (月) くらりか 高橋諄吉

### 発端：

平成 22 年 (2010 年)3 月桜花会 (応用化学系同窓会) の役員会の席上、桜花会から「くらりか」会員であり、当時桜花会副会長であった高木ヤスオ氏に同年 10 月の工大祭で応化コースの学生の活動と「くらりか」活動とのコラボレーションが出来ないかとの打診がありました。例年は学生が、来場者に対して簡単な化学実験を見せて、理科好きを作ろうと頑張っており、平成 21 年には、スライム、偏光、炎色反応等々のデモをしていました。これが具体化し、桜花会支援のもとに工大祭での「くらりか」教室が実現することとなりました。

### 第 1 回教室とその後の経過：

その後、大学院理工学研究科応用化学専攻の田中准教授と打合せ、小学校高学年を対象にテーマを「レモン電池」とし、教材作成のための準備会を経て、平成 22 年 10 月 23 日および 10 月 24 日に第 1 回の教室を田中研究室の皆さんの応援を得て実施しました。場所は岡山キャンパス西 4 号館 2 階 応用化学学生実験室の一番奥で、実験台 4 ～ 5 台部分を利用し、参加者に工作と実験をしてもらう方式で実施しました。

事前には、10名ずつの教室方式を考えておりましたが、五月雨式に参加希望者が来場されたため、これに対応する形で教室を実施しました。来場者は、高校生、大学生 (これから専攻を決めたい学生)、小学生、保護者 (教育熱心な保護者及び理科好きな子供の保護者)、その他工大祭を楽しむ近隣の方々に、盛況でした。

準備しました80名分の教材は、初日は午後だけでしたが55名の参加で不足が明らかになりましたので、急遽夜なべで追加しました。それでも翌日午後3時には、用意しました教材がなくなり、教室を閉じました。

その後の経過は次の通りです。今年度は「くらりか」から両日で述べ 13 名、伊藤研究室から両日で述べ 4 名の大学院生に参加いただき、参加者への指導をしていただきました。他に 9 月 30 日に教材準備のため「くらりか」から 11 名が参加し、準備会を実施しました。但し、準備会では準備が完了せず、5 名の方は未完分を夜なべ仕事で捌いていただきました。

年度	テーマ	応援いただいた研究室	参加者数推定
平成 22 年度	レモン電池	田中研究室	170 名

※ 参加者数は予想を大幅に上回り、中間集計では 145 名としましたが、最終的には 170 名でした。

平成 23 年度 レモン電池 田中研究室 197 名

※ 昨年にもまして盛況なイベントとなり、「なるほど応用化学」全体では 2 日間に 500 名以上の方々が入場されたようで、平成 23 年度研究室公開部門で人気第 2 位に選ばれました。中間発表では第 1 位でした。

平成 24 年度 レモン電池 岡本研究室 240 名

平成 25 年度 電気ペン 岡本研究室 257 名

※ 平成 25 年度から学生の意見も考慮し、テーマを電気ペンに変更することとしました。

平成 26 年度 電気ペン 伊藤研究室 160 名

※ 「なるほど応用化学」は、工大祭 2014 グランプリ結果発表によりますと特別賞の素数賞(グランプリ得票数が素数であった企画のうち、その数が最大の企画に授与される)を得ました。

※ 今年度、参加者は従来の参加者数をかなり下回りましたが、この原因として、昨年は工大祭と同時開催であった高校生、受験生対象のオープンキャンパスを今年度は 8 月に開催したので、その影響もかなりあるのではないかとの意見もありました。

教室での写真：



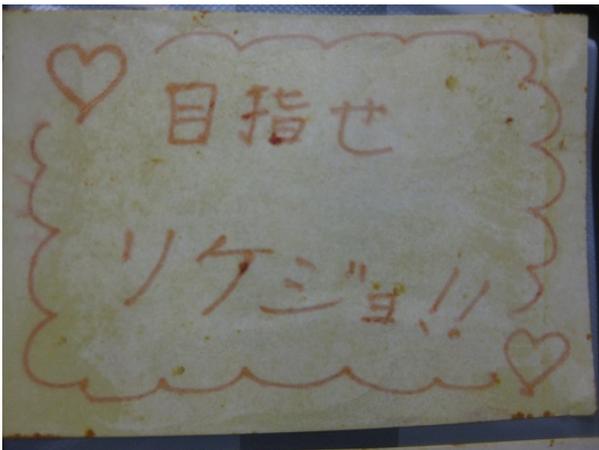
幟と説明用ポスター



準備の様子



教室内の状況



作品その1



作品その2

**今後の展開：**

今後も、取り敢えずは20を超えております「くらりか」テーマの中から化学系のものを取り出し、「なるほど応用化学」に協力して行ければと考えております。